

登山者の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症

対策を踏まえた登山について

- ・熱がある場合や体調がよくない場合は**登山を中止**してください。
- ・体調に留意して、なるべく**難易度を下げた山**を選んでください。入山時は快調でも、**急に発症する可能性**があります。
- ・万が一遭難事故に遭うと、医療現場に大きな負担をかけることとなります。
- ・山小屋(テントを含む)を利用する場合は、オープンしているかどうか、また、**新型コロナウイルス感染症対策が施されているかどうか**を入山前に確認し事前に予約してください。
- ・登山はなるべく**少人数**で行うとともに、**ソーシャルディスタンス(2m以上)**に留意してください。
- ・チャック付きポリ袋を持参し、使用後のティッシュや口を付けたペットボトルは入れて持ち帰ってください。

登山には社会的責任が伴います。

新型コロナウイルス感染症が一日でも早く終息するために、皆さまのご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた登山について (登山者の皆さまへ)

令和2年5月25日に全国で新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言は解除されましたが、今後、第2波、第3波も予想されることから、気を緩めることなく、引き続き感染防止対策に取り組んでいく必要があります。

登山を計画する際には、十分なルートの下調べを行い、必ず登山届を提出していただくとともに、以下の点に十分留意してください。

- ・登山当日は検温を行うとともに、熱がある場合や体調がよくない場合は登山を中止してください。
- ・自分の力量を的確に把握するとともに、体調に留意して、なるべく難易度を下げた山を選んでください。
- ・入山時は快調であっても山の中で発病する可能性があります。発病した場合、高度によっては血液中に酸素を取り込み難いことや低い気温や悪天候などの山の上の過酷な環境等は、感染症を悪化させます。
- ・万が一遭難事故に遭うと、医療現場に大きな負担をかけることになります。
- ・山小屋（テント場含む）を利用する場合は、オープンしているかどうか、また、新型コロナウイルス感染症対策が施されているかどうかを入山前に確認し、事前に予約してください。
- ・登山は、なるべく少人数で行うとともに、離れての会話や咳エチケットなど飛沫感染防止に留意してください。なお、登山中にマスクやバフ等を使用する場合は、熱中症や脱水のリスクが高くなることに留意してください。
- ・登山でのソーシャルディスタンスを守ってください。一般的には2メートル前後ですが、登山中の場合は、さらに距離が必要とされています。
- ・チャック付きポリ袋を持参し、使用後のティッシュや口を付けたペットボトルは入れて持ち帰ってください。
- ・最新情報を山岳関係団体等のホームページから入手するなどして、安全・安心な登山に活かすようにしてください。

登山には社会的責任が伴います。新型コロナウイルス感染症が一日でも早く終息するために、皆さまのご協力をお願いいたします。